

巨大パペット、映像、音楽を駆使して、クリエイティビティ溢れる舞台空間を創造 T D C (Theatre de la Dame de Coeur)

TDCは、1975年に創立。カナダのケベック州Uptonの広大な土地に本拠を構え、独自に開発した巨大パペットと人間を共演させながら、夢あふれる世界をクリエイトしている集団です。屋内外の様々な会場で、大規模でスペクタクルなショーを実現するために、独特な専門技術を開発し、特殊な環境での劇場技術に関する研究を行っています。

その独創的な造形と高い表現技術は世界各国で高い評価を得ており、ユニークで新しい作品創造のパートナーとして国際的なイベントで活躍してきました。最近の作品に、東洋最大の劇場「Esplanade Theatres on the Bay, Singapore」(シンガポール国立エスプラネード劇場)のオープニングセレモニー(2002年)などがあります。

T D C 作品の特色は、独自の技術で創られた巨大なパペットです。T D C が開発した技術を習得したパペット操者が、映像や音楽とシンクロさせて、複雑な機構と機能を有する巨大なパペットを操り、独特の舞台空間を創り出すのです。T D C では、イメージと現実の融合を促進させるために、あらゆる技術者たちが一丸となって活動しています。溶接工、衣裳製作者、彫刻、大工、電気技師、圧搾水力工学技術者、鋳型工、塗装工などが過去25年間以上、キャラクターに命を吹き込んで、多くの観客をファンタスティックアドベンチャーへと誘ってきました。

その豊かな想像力と高い技術開発力から、大きなマリオネットや動くフレスコ画のような巨大な絵画を人間の動きに見せるハーネス技術、リフト車または油圧アームを持つトラックに備え付けられた複雑なメカニズムにより巨大なパペットを動かすパペット操作技術、サーカスの技術に基づいた空中でのパペット操作技術、パペットの中にオーディオビジュアル機材を融合、コンピュータ制御されたパペット・ディスプレイ・スクリーンなど、様々な独自技術を生み出し、他の劇団では実現できない舞台空間を可能にしているのです。

観客を驚かせ、感動を与えるために、たゆまない探究を重ねており、観客に豊かなイメージを喚起するような寓話的なコンセプトによって創作活動を続けています。

